

江東区健康プラン 21(後期5か年計画)(案)パブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの実施

(1)意見募集期間

平成20年11月5日～平成20年11月25日

(2)案の公表方法

区報パブリックコメント特集号(11月5日号)、区ホームページ、江東情報ステーション
保健所、各保健相談所

(3)受付方法

区報刷込ハガキ、郵送、電子メール、FAX、地域保健課窓口持参

(4)意見提出状況

提出者数 22名

(内訳)区報刷込ハガキ 20通、郵送 1通、電子メール 1通

(性別)

(年齢別)

性別	人数
男性	12
女性	9
不明	1
計	22

年齢階層	人数
20代以下	1
30代	
40代	5
50代	3
60代	4
70代以上	7
不明	2
計	22

2 パブリックコメントで寄せられた意見

意見要旨と区の考え方:別表のとおり

(本計画に、関係のないご意見や意見提出に際しての要件を満たさないものについては掲載していません。)

意見要旨	区の方考え方
全体意見	
健康づくりの観点から都市計画、食品行政、保健管理等について適格な問題の把握ができる機関の設立。そして行政指導の必要に応じて強化が必要と思う	現在、専門機関を設置することは考えておりませんが、関係部署と連携を図り、対応していきたいと考えています。
廃プラや発スチ、発トレを可燃にして大気を汚染し、CO2を撒き散らし、健康プランなどといっている場合には御座いません。焼却も埋め立ても止めて、リサイクルをお願い申し上げます。	頂いたご意見については、関係部署にお伝えさせていただきます。
平成16年3月に始まったとされる健康プランは、プランをたてると同時にそのプランを実際、実行されてきたのでしょうか	区では、平成16年の策定以来、健康プラン推進事業として取り組んでいます。
プランよし。なんでも毎年一つに絞ってPRし、実行できるようにする。	今後、情報提供など効果的な周知方法について検討していきます。
重点課題	
ラジオ体操を夏休みに各小学校でやるといいと思います。現役の小学生や中学生はもちろん高齢者もやれば、医療費の抑制につながると思うし、一挙両得だと思います。メタボ対策にもいいと思います。	頂いたご意見については、具体的な事業を検討するうえで、参考にさせていただきます。
現代人の不健康は“運動不足”から生じている。働くことをベースに体を動かすことが、先づ第一です。特に高齢者は家から出て、働くように区も動機づけする。例えば、街中の清掃活動やマナーの悪い駐輪等の整理とか。運動で医療保険も低減可能。食より運動による体力の増進を要す	運動の大切さについては、平成16年に策定した健康プラン21(16年～25年度の10年計画)の中で、「身体活動・運動」を重点分野の一つとして掲げており、今後も継続して推進していきます。
私たちの日本は外国と異なって検診がさかんで、妊婦、地域保健では乳幼児検診から始まり学校保健、職域保健を経て再び地域保健(老人保健)に至るまで生涯に至るまで検診を受けることが出来るこんな有難いことはありません。今後に至っても、高齢者に至るまで健診を受けられるよう配慮をお願いいたします。	現行の検(健)診体制の維持を基本として、国の動向や区の実情など社会の変化を踏まえ、対応していきます。
健診を受けるだけでは、健康になれない。検診結果が悪ければその原因はなにか、よく理解して改善すること。	検(健)診結果が活かされるよう、情報提供や個別相談を充実していきます。
検診の受診率を向上したいのなら健康診断を受けられる病院を増やしてほしい。現状、受診できる病院が少ない為、4月に予約しても、11月、12月にしかとれない状態です。(40人程度の会社の健康診断の場合)	企業健診については、受診しやすい体制となるよう関係機関に働きかけていきます。
メタボリックシンドロームについて、あまりにも神経質になり過ぎていると思います。腹囲で男85cm、女90cmは非現実的です。	メタボリックシンドロームの基準については、厚生労働者の基準により対応しております。

意見要旨	区の方考え方
<p>今の2年に1度の乳がん、子宮がんの検診はそれでよいのですか。子宮がんだけでも年1度ということにはならないのでしょうか。他の地域では、年1度の子宮がん検診というのが多いと思うのですが。</p>	<p>子宮がん検診や乳がん検診については、国の指針に基づいて実施しておりますので、現在のところは、現行どおりの体制で考えています。</p>
<p>子宮がん検診や乳がん検診の対象の年齢を下げて、皆が好きなときに受けられるようにしてほしい。</p>	
<p>たばこについて、“ストレス”解消の最も手軽な手段です。安易に止めさせるべきものではないと考えます。</p>	<p>区では、たばこの害についてのPRや禁煙意向のある人への支援について推進していきます。</p>
<p>長年煙草の吸いすぎで肺癌になる人が多い区としても禁煙方法をとるべきです。罰金制度とか</p>	<p>区では、たばこの害についてのPRや禁煙意向のある人への支援、未成年者の喫煙防止教育を通じて、喫煙率の低下を目指します。</p>
<p>歩行禁煙をなぜやらないのか？他区は以前よりやっている。健康プランというなら早急に実施すべき。歩行禁煙が多くて困る。子供もあぶない。ぜんそくになる。</p>	<p>歩行喫煙の防止については、平成21年3月の第1回区議会定例会で「江東区歩行喫煙等の防止に関する条例」が制定されました。</p>
<p>副流煙対策は先進国の中で日本が一番遅れており、WHOの資料では喫煙者3人に囲まれるとタバコ1本吸ったのと同等の発がん物質を非喫煙者も吸うと明示されています。</p> <p>駅前のバス停が禁煙になったのにその近くに区が灰皿を設置しています。馬鹿げています。</p> <p>路上喫煙を罰金にしてください。副流煙対策は23区の中でも一番遅れています。</p>	
<p>その他</p>	
<p>インフルエンザの予防接種に補助金が出るようにしてほしい。(若い人も)。</p>	<p>区では予防接種法に基づく、65歳以上の高齢者などへのインフルエンザの予防接種については補助を行っておりますが、現在のところ、その対象を拡大することは考えておりません。</p>
<p>高齢者が多くなり、一人暮らしも増えています。それぞれの持ち家などを区で買い上げてまとめて住めるような施設が出来たら、孤独死も少なくなるような気がします。</p>	<p>ご提案については、本計画には反映できませんが、頂いたご意見については、関係部署へお伝えさせていただきます。</p>
<p>骨粗しょう症、早期発見が必要といわれていますが、区の検診で、どうして65才以上の検診がないのでしょうか。いつも疑問に思っています。寝たきり予防の為に、ある年齢以下しか意味がないとは思えません。是非検診に入れていただきたいと思います。自費では年金生活者にとっては大変です。</p>	<p>骨密度は、加齢により減少していくものです。特に、女性の場合、閉経を機にホルモン等の影響により、骨量が著しく低下するとされています。保健相談所で行っている検診については、あくまでも骨粗しょう症の若年者における早期発見・早期予防を目的としていますので、区では、65歳を一つの目安としており、現行の体制でと考えています。高齢者にとっては、転倒予防などの介護予防がより重要となっています。</p>
<p>廻遊路施設について。四通八達のつながりが好いとはいえない。施設の整備、活用利用度向上の工夫等必要。</p>	<p>遊歩道等の整備については、今後具体的な事業を検討するうえで、参考とさせていただきます。</p>